

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		活動スペースを細かく分け刺激の調整ができる環境を整備し支援している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		児童の特性や状況に応じて柔軟に職員配置を行い個別対応を充実させている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		個別スケジュールや視覚支援を活用し理解しやすい環境づくりを行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		衛生管理を徹底し安心して過ごせるよう清潔な環境づくりを行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンや個別対応の場を確保し状態に応じた支援を行っている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		日々の振り返りを行い課題を共有し支援内容の改善につなげている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者からの意見を取り入れ支援内容の見直しと改善を行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員の意見を積極的に反映し柔軟な業務改善に取り組んでいる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者による外部評価を実施する機会が現時点では設けられていないため、今後は外部の視点を取り入れられる体制を検討し、客観的な評価を業務改善につなげていく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修への参加を推進し職員の専門性向上に努めている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援内容を整理し保護者へ分かりやすく説明できるよう工夫している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		面談を重視し児童と保護者のニーズを把握し支援計画に反映している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		ケース検討を行い多角的な視点で支援内容の検討を行っている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援内容の統一を図り一貫した支援が行えるよう体制を整えている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		行動観察を重視し児童の状態や変化を継続的に把握している。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		家族支援や地域連携を踏まえた支援計画を作成している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員主体で活動内容を工夫し支援の質向上に努めている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		新しい活動を取り入れ児童の興味関心や意欲向上を図っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別支援を重視し児童の状態に応じた丁寧な支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援前に情報共有を行い役割分担を明確にして支援している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援後に振り返りを行い課題を整理し支援改善につなげている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録を分析し支援内容の見直しと改善に活用している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的に見直しを行い支援の質向上に努めている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		状況理解者が会議へ参加し必要な情報共有を行っている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	医療や教育機関と連携し支援内容の向上に活かしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		インクルージョンの視点を意識した支援を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		就学時の引継ぎを行い関係機関と情報共有を図っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4	地域の児童発達支援センター等から助言や研修を受ける機会が十分ではないため、今後は必要に応じて連携し、専門的な支援力向上につなげていく必要がある。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもとの交流機会が十分に設けられていないため、今後は地域とのつながりを意識した活動機会を検討していく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		保護者との情報共有を日々行い理解を深めている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		家族支援を必要に応じて実施し支援につなげている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		丁寧な説明を行い支援内容について理解を得ている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		意向確認を重視し支援計画作成に反映している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		支援内容の説明と同意取得を丁寧に行っている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		柔軟に相談対応を行い必要な支援につなげている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者交流は今後の課題として検討している。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談体制を整備し適切な対応を行っている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		SNS等を活用し活動内容や予定の情報発信を行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報管理を徹底し適切に取り扱っている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		視覚支援を用いて分かりやすい意思疎通を図っている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	地域との関係づくりを意識した運営を行っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアル整備と訓練を行い対応力向上に努めている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し災害時に備えた対応を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		健康情報を事前に確認し支援に活かしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	アレルギー対応を徹底し安全に配慮している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全管理体制を強化し安心できる環境を整えている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		保護者へ安全情報を分かりやすく周知している。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	ヒヤリハットを共有し再発防止に努めている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止体制を整備し職員の意識向上を図っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束の適正運用を行い安全に配慮している。